

第4節 課題のまとめ

文化を取り巻く社会情勢や、本市の文化芸術や文化財の現状と課題、また、市民や文化芸術活動団体への調査などから、本市における文化振興の課題を整理します。



(1) 人材育成

文化芸術活動は、人々の豊かな心を育むだけでなく、子どもや若者の育成、高齢者の生きがいなどにつながるものです。

本市において、子どもから大人、高齢者まで障がいのある人もない人も、また、性別や国籍に関わらず、全ての市民が文化に触れ、感性や創造力を育むためには、「鑑賞」「体験」「学び」などの文化に親しむ機会が求められており、男性や女性、子どもや高齢者といったそれぞれの世代や対象にあったイベントや広報について検討する必要があります。また、子どもたちの感性を育むためには、学校との連携を深めていくことが大切です。

また、少子高齢化の社会では、後継者の育成が重要な課題となっています。近年は、地域において地域文化の伝承への取り組みが活発に行われており、実際に見たり参加したりすることで、子どもたちの地域文化への意識の醸成につながっており、今後も継続して取り組めるよう支援が求められています。そして、さまざまな分野の文化を次世代につなげていくために、より多くの市民が文化芸術活動や文化に関するイベントなどに積極的に参加するよう働きかけることも必要です。

さらに、グローバル化する社会の中で、多様な文化にふれ、お互いを受け入れることができる、国際理解のある人材が求められています。

本市の文化を振興していくには、文化を伝え、支える多くの人材が必要となっており、市民が生まれ育った郷土に愛着を持ち、それぞれの立場で役割を担い、文化を振興していくことが求められています。



(2) 文化芸術活動の基盤整備と支援

本市では、数多くの団体や個人などによりさまざまな文化芸術活動が行われており、この文化芸術活動が本市の文化を支え、市民に文化を広げていく大きな役割を担っています。

この文化芸術活動を広げるためには、より多くの市民が文化芸術活動に参加することができるような支援が求められています。

そこで、行政と共に文化を振興するための役割を持つものとして、佐賀市と佐賀市文化振興財団が連携を深め、文化芸術活動に携わる個人や団体と連携し合い、さまざまな文化芸術活動が行いやすいしくみをつくる必要があります。

文化芸術活動団体の状況においては、会員数の減少、または活動規模の縮小傾向にある団体が多くなっており、活動を継続していくにあたって、「新たな会員の確保」に向けた支援が求められています。

また、優れた技術をもち、文化を継承し、創造している芸術家や専門家への支援も欠かせないものとなっており、それらを評価し、多くの人に広めていくことは、本市の文化向上のために重要な支援といえます。



(3) 歴史遺産の保存と活用

本市には、国宝や重要文化財のように指定を受けている文化財以外にも、重要な歴史遺産が数多く存在しています。国・県・市による保存はもちろんのこと、地域の宝として地域住民による文化財の保存や管理が求められています。そのためにも、市民が文化財の意義や価値を理解し、保存や活用に対する意識を高めていく必要があります。

また、地域コミュニティの形成や郷土愛などを醸成していくうえで重要な要素となる地域文化は、次世代へ引き継ぐための地域の活動や事業への支援、また、後継者育成の支援が求められています。



(4) 文化によるまちづくり

本市には、数多くの文化財や受け継がれてきた伝統文化、そして、新たな文化を創造する芸術など、文化資源が豊富にあります。さまざまなツールを活用し、これらの文化資源の情報発信を効果的に行い、地域に根ざした文化のまちづくりに向けての環境を整備することが求められています。

特に、個々の文化財には、その文化財固有の歴史と物語があることから、多くの人を魅了し、観光資源としての活用も期待されており、例えば、東名遺跡や肥前国庁跡、三重津海軍所跡などを核とした周辺遺跡を含めたルートの整備を行うなどの活用が求められています。

そのため、文化・文化財を活用したまちづくりのためには、市民一人ひとりが文化の価値や意義を理解することや、行政が身近で文化芸術活動が行える場所や機会を創出すること、また、文化を軸とした産学官連携を図るなど、積極的な事業展開が望まれています。